

NPO 法人 鹿児島技術士の会 講演会

1. 目的：

技術者だけでなく、一般社会人や学生へ向けて、最新科学知見・技術・産業動向等の講演をとおして科学技術への関心を高めるとともに、広くその啓発・普及を図る。

2. 事業計画

科学技術や産業をリードしている人材に積極的にアプローチして講演会の講師をお願いしている。講演会を通して、あらゆる産業の課題の解決にむけた技術的助言を行うとともに、支援と交流の輪を広める役割を果たす。

今回は、筑後川流域の水環境や都市環境に関する研究で知られるほか、アフガニスタン難民支援等で中村哲医師を治水・利水の技術面で支える坂本紘二氏を講師に迎える。

2-1 今回の内容

平成 26 年 6 月 14 日(土)10:00~12:00

かごしま環境未来館（2 階 多目的ホール）

- ・住所：〒890-0041 鹿児島市城西 2 丁目 1-5
- ・電話番号：099-806-6666（代表）・ファックス番号：099-806-8000

会 費（会場・資料作成等）：一般 1,000 円、NPO 会員 700 円、学生 無料

申込先：NPO 法人鹿児島技術士の会 鹿児島市田上 4-5-17（(株)郷土開発内）
講演責任者 上野 敏孝 099-213-4761（6 月 6 日までにお願ひします）

演題：「環境問題克服への発想転換」

講師：坂本 紘二（さかもと こうじ）

環境学者

山口大学監事（2010 年 4 月～）

前下関市立大学長

下関市ごみ減量等推進審議会議員

NPO 法人「環境みらい」理事長

2-2 講演要旨

環境破壊や人間の疎外・個物化など現代社会が直面する諸問題には、科学技術の本質的な課題が関わっている。110311 の東日本大震災の被災と被爆の体験も、近代科学技術文明の転換点に立っていることを実感させるのに十分であったのだが、新たな方向をなかなか見出せないでいるのが現状である。

本講演では、土木技術史、技術システム論の調査研究や都市環境に係るまちづくり等に実践的に長年携わりながら、一貫して「技術を進展させる上での構えやめざすべき方向性」を追究してきて、これまでに獲得できている総括的な内容を、《凸型から凹型へ、技術の発想の転換》と題して披露する。

私たちの身の回りの技術の状態(様相)を問いかける《技術環境》という用語の重要性、《伝統技術の智慧をどのように読み取り、将来に向けてどのように翻訳するのか》という課題、さまざまなまちづくり成功例に見出せる《場所性に応ずる(凹ずる)》あり方、および、《環境問題克服の実践的キーワード》が凹型の発想と密接なこと、などを示しながら「凸型から凹型へ」の論を展開する。

3. 共催後援等

共催 鹿児島県技術士会
後援 鹿児島県
鹿児島県測量設計業協会
鹿児島県建設コンサルタンツ協会
鹿児島県建設業協会

(切り取らずに FAX をどうぞ)

NPO 法人 鹿児島技術士の会 平成 26 年度講演会 事務担当行き

FAX 099-213-4791 E-mail: t.ueno@uenojyo.com

平成 25 年度 講演会 参加申込書

氏名	所属	電話番号	備考